



発行所
〒107-0062 東京都港区赤坂7丁目5番38号
公益社団法人 全国協議会
日本PTA 清水 敬介
発行人 清水 敬介
電話 03(5545)7151
FAX 03(5545)7152
ホームページアドレス
http://www.nippon-pta.or.jp/

令和2年度定時総会・臨時総会

臨時総会

令和2年8月28日(金)

8月28日の臨時総会はオンラインにて代表者の皆様にご参加いただき無事終了しました。

不慣れな点が多い中運営にご協力いただきありがとうございます。

また、同日に臨時理事会が行われ

定時総会

令和2年6月26日(金)

6月26日の定時総会において、第1号議案「令和元年度事業報告について」、第2号議案「令和元年度収支決算書について」とともに承認をいただきました。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和2年2月19日の理事会を最後に一箇所に集まるとの会議は開催することができず、定時総会は協議会各位に書面にてあらかじめ議決をいただき、当日は三役のみ集まり、全ての評決を確認しました。

社会経済活動はもとより、PTA活動全般(日本PTA、ブロック協議会、地方協議会、市区町村PTA、単位PTA)にわたり、これまで通りの活動を行うことができない状況の中、日Pにおいても一部協議会において、代表者が選出されていないとの連絡を受け、人事を先送りすることとなりました。

綱領

本会は、教育を本旨とし、特定の政党や宗教に偏ることなく、小学校及び中学校におけるPTA活動を通して、我が国における社会教育及び家庭教育の充実に努めるとともに、家庭・学校・地域の連携を深め、子どもたちの健全育成と福祉の増進を図り、もって社会の発展に寄与する。

主な内容

1面

○令和2年度定時総会・臨時総会

2面

○令和2年度日本PTAの活動について

3面

○第68回日本PTA全国研究大会(菅山大会)中止の経緯と今後の研究大会の在り方

4面

○第42回全国小・中学校PTA広報紙コンクールについて
○令和2年度「楽しい子育て全国キャンペーン」三行詩について
○調査研究事業について

5面

○見つけてください!「日本PTA推薦マーク」
○一斉休校などが中高校生の睡眠と心身の健康に及ぼす影響に関する調査へのお願い

6面

○「PTA活動における新型コロナウイルス感染症対応ガイド」について

令和2年度人事及び運営について承認されました。

第1号議案「正会員の会費納入について」、第2号議案「令和2年度理事及び監事の選任について」ともにオンライン上にて挙手をいただき全会一致にて承認いただきました。また、臨時総会を暫時休憩とし理事会を開催、以下の通り審議を行いました。

(1)代表理事及び業務執行理事の選定について

代表理事及び三役は承認されました。また三役を業務執行理事として

承認しました。

(2)会長職務代行者の順序の決定について

承認されました。

(3)令和2年度委員会について

設置をしないことについて諮り、承認されました。

(4)公益事業推進室の設置について

令和2年度の活動として設置する旨を説明の上諮り、承認されました。

(5)諮問会議の設置について

要綱に基づき設置する旨を諮り、承認されました。

(6)顧問、相談役及び参与について

承認されました。

ごあいさつ

公益社団法人日本PTA全国協議会
会長 清水 敬介



令和2年度公益社団法人日本PTA全国協議会会長を拝命致しました、清水敬介と申します。

新型コロナウイルスが依然猛威を振る中、私たちの環境はこれまでとは違う生活様式に様変わりしてしまいました。

全国のPTA活動も従来とは違う形となり三密を避けるため、集合式の会合も出来ず苦慮している事と存じます。

我々、公益社団法人日本PTA全国協議会としても、この令和2年度は例年とは違う形での活動を余儀なくされており、既に公益目的の事業の中止や延期・縮小をして

おります。

しかし、withコロナとしてのPTA活動の在り方も模索して、リモート等も活用し広く会員の皆様からのご意見を頂戴しながら、文部科学省をはじめ教育関係団体とも連携し、有益な情報を提供していきたいと思っております。

日本最大の社会教育関係団体として全国約800万人の会員の皆様のため、そして大切な子ども達の明るい未来のために活動して参りますので、どうか引き続きご支援・ご協力のほど、なにとぞ宜しくお願い致します。



ソーシャルディスタンスと換気を考慮した部屋にて臨時総会対応

本紙は各校PTAに、「校長・教頭用」、「PTA会長・役員・広報委員用」、「事務局員用」を旨安に配布しています。

令和2年度 公益社団法人日本PTA全国協議会 理事

役職	氏名	都道府県・政令指定都市
会長	清水 敬介	東京都
副会長	土田 修	名古屋市
副会長	山田 洋子	札幌市
副会長	江田 明弘	広島県
専務理事	青羽 章仁	佐賀県
常務理事	大島 修	さいたま市
特任執行役員	東川 勝哉	長野県
理事	吉村 昌之	長崎県
理事	佐藤 博之	秋田県
理事	金田 淳	山形県
理事	船川 昇	栃木県
理事	熊木 勉	京都府
理事	村崎 一英	愛媛県
理事	本江 学	熊本県
理事	三浦 隆史	富山県
理事		北九州
理事		北海道

公益目的事業推進室

令和2年度において、日本PTA全国協議会の公益目的事業を、より円滑に実施するため「推進

室」を設置し、会員協議会代表者が担い従事します。室長を中心に、6つの事業ごとに年間スケジュールを立て、推進室の会議

日程を決め「誰が・何を・いつまでに」を意識して当てるものです。コロナ禍の中、会議はリモート中心に行い、適宜日本PTA会館において開催

令和2年度 日本PTAの活動について

今年度は、新型コロナウイルス感染症の予防対策に考慮しながらの運営を行うことを念頭に、各所と風通しの良いコミュニケーションの取れた関係性を重視し、会員協議会への情報発信や共有を心がけ活動をして参ります。

公益法人として行う目的事業において、64の協議会代表者が直接関わり推進する、「公益目的事業推進室」を設置しました。6つの公益目的事業は、日本PTAが目的とする綱領を達成するための根幹であり、我々大人が学び子ども達と触れ合うこと、関係府省庁

や機関等と連携・協力を図ること等が盛り込まれ、家庭教育の充実と社会教育の推進を担っています。協議会代表者自らが事業を推進することにより、日本PTA活動の理解がより深まり、協議会内そのものでの活動・運営の醸成につながることも考えます。

また、日本PTA諮問会議を設置し、現在の日本PTAに求められている今日的課題や、将来を見据えた本会のあり方について検討を行うこととします。諮問会議には4つの専門部会を置き、検討結果をまとめ答申を行います。

し、事業には内容をよく知るアドバイザーを配置し、指導や意見を仰ぎます。

- ▼公1 全国大会推進室 室長 青羽 章仁
- ▼公2 調査研究推進室 室長 吉村 昌之
- ▼公3 表彰推進室 室長 山田 洋子
- ▼公4 広報推進室 室長 大島 修
- ▼公5 国内研修 国際交流推進室 室長 江田 明弘
- ▼公6 教育支援助成推進室 室長 土田 修

日本PTA諮問会議

会長が指名した議長が招集し、諮問会議設置要項を遵守し進めていきます。4つの専門部会を置き次の事項について検討していきます。

- (1) 社会教育・初等中等教育における今日的課題に関する事
 - (2) 本会の組織や運営のあり方に関する事
 - (3) 本会の定款・定款施行細則・規程等の改廃や新設に関する事
 - (4) その他、本会の会長が必要と認める事項に関する事
- 検討事項は多岐に渡りますが、日本PTAの運営や指針に反映できるよう、早期対応・継続対応を見極め、まとまった時

点で速やかに会長に答申します。

- ▼規程等整備ワーキンググループ
 - 〈現状と合っていない、また、新たに必要な規程や細則を洗い出し、変更の提案を行う〉
- ▼社会教育・初等中等教育問題ワーキンググループ
 - 〈文部科学省と連携し、今日的課題を日本PTAが常に考えていけるよう提案を行う〉
- ▼新型コロナウイルス感染症対策ワーキンググループ
 - 〈PTA活動において現状の把握と今後の対策を協議し、その報告と方策の提案を行う〉
- ▼組織のあり方プロジェクトチーム
 - 〈ブロック協議会、会員協議会からの要請に応じ意見交換を行い、その報告を行う〉



公益社団法人日本PTA全国協議会 令和2年度会議予定

月日	会議名等
6月26日(金)	定期総会
8月28日(金)	臨時総会
9月16日(水)	三役会
10月13日(火)	三役会
10月29日(水)	三役会
11月19日(水)	三役会
11月27日(金)	三役会 理事会 事務連絡会 年次表彰式
12月10日(水)	三役会
12月18日(金)	全国大会引継会 三役会 中間監査(全国大会会計監査含む)
令和3年	
1月21日(水)	三役会
1月22日(金)	三役会
2月10日(水)	三役会
2月17日(水)	三役会
2月18日(水)	三役会 理事会 ブロック協議会会長会 公益目的事業推進室会議 臨時総会 協議会代表者会
月末予定	全国大会会計期末監査
3月17日(水)	三役会
4月14日(水)	三役会
5月18日(火)	三役会
5月20日(水)	三役会 期末監査
5月21日(金)	三役会 理事会 ブロック協議会会長会 公益目的事業推進室会議 協議会代表者会
6月24日(水)	三役会
6月25日(金)	三役会
6月26日(土)	三役会 理事会 定時総会 懇親会 研修会 委員長連絡会・新三役会



第68回日本PTA全国研究大会富山大会 中止の経緯と今後の研究大会の在り方



富山県としては、この全国大会の準備に対し、大会準備会議・大会準備委員会そして大会実行委員会と組織を毎年編成し直しながら、実質4年もの年月を費やし、大会内容の企画もすべて承認も頂き、

3月24日に発表された東京オリンピック自体の延期ということもあり、当時の社会情勢の中、8月開催予定だった富山大会についても、通常通りの開催ということはかなり難しいと判断せざるを得なくなってきました。その後、日本PTAの役員の皆様と、何回も何回も協議を重ね、最終的にこれらのことについての現状を見極め、大会を開催するに当たり、安心・安全の確保が困難であると判断し、苦渋の決断ではありましたが、5月初旬に、第68回日本PTA全国研究大会富山大会を中止することになりました。

令和元年度末頃からの新型コロナウイルス(COVID-19)が感染拡大により、本年度当初から全国の小・中学校や高等学校で一斉休校が行われるなど、例年では考えられない状況に、子どもたちの教育や生活、そしてPTA活動にも年初から大きな影響がありました。



皆様にも第1次案内も発送し、大会グッズも揃え、あとは実施するだけという段階での中止ということもあり、私自身、今もなお、言葉では到底言い表せない思いでいっぱいです。

大会開催の有無の判断ということに対し、富山県内では、「中止」ではなく「延期」という声も少なからずあったのも事実です。しかし、4月に入ってから、国内での感染拡大の勢いが止まらず、一時は、年度内(11月・2月など)での「延期」という考えもありましたが、その当時は、もうその選択肢は考えられないという感じになっていました。また、東京オリンピック延期と同様に1年後の開催とい



う選択肢もありましたが、1年後の開催に向けての組織体制の立て直しや、それまでのメンバーの士気の維持・各分科会・全体会のキャスティングの再考、次年度大会開催の確実性および再々度の開催中止・延期へのリスク等を考えると、私自身、大会実行委員長として、本当に無念ではありましたが、「延期」ではなく「中止」という提案を日本PTA側にさせて頂いたということでもあります。

その当時の日本PTAの役員の皆様には、何とか大会開催に向け、具体的な提案や各方面への調整など、色々ご尽力頂いたことは本当に感謝申し上げる次第であります。(富山大会実行委員長 本江 学)

日本PTA全国研究大会開催地及び開催予定地

回	年度	開催ブロック	(開催地)
70	2022年	北海道・東北	山形 (30年2月23日 理事会決定)
71	2023年	中国・四国	広島県
72	2024年	関東・東京	川崎市
73	2025年	東海北陸	石川県
74	2026年	近畿	奈良県
75	2027年	九州	

本年度、日本PTAでは、6つの「公益目的事業推進室」を設置し、会員が担い従事することにしております。その中の一つに「全国大会推進室」があります。今回の大会中止に伴い、そういった危機管理を常に持ちながら様々なことに対して順応していかなければならない時期にきていると感じています。この「全国大会推進室」では、次世代に繋げることを念頭に、今後の研究大会の在り方について考えていこうと思っております。

新型コロナウイルス感染拡大が終息し、従来のようにリアルで研究大会が開催できることがベストですが、仮にこの状態が続いた場合、最近の事例ですとリアルとリモートを融合した「ハイブリッド形式」の開催方法なども念頭に企画するという案もあるうかと思えます。

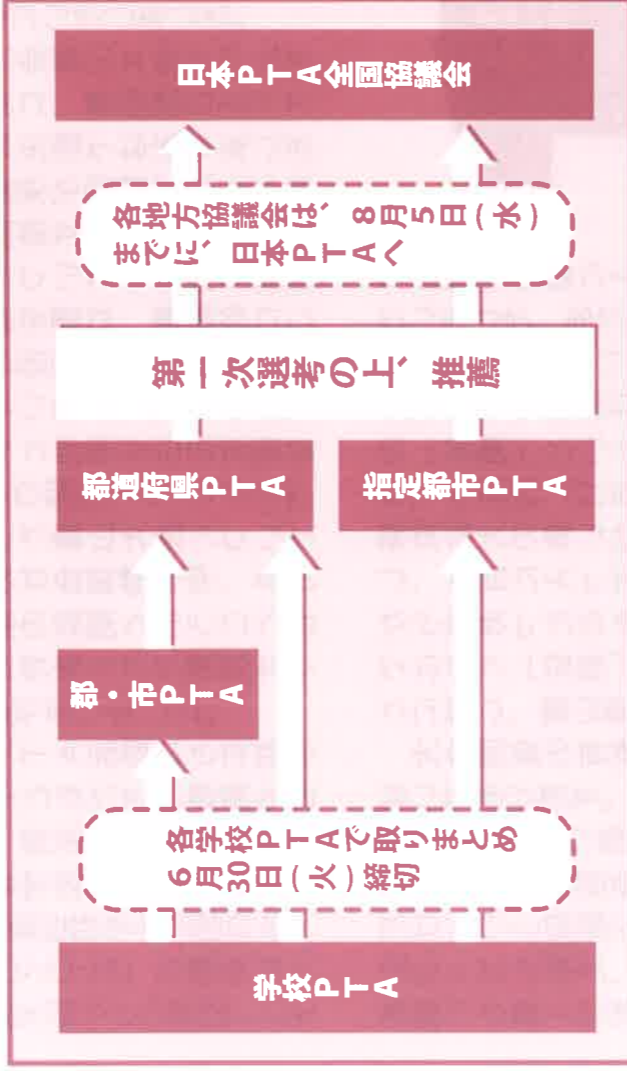
当然、メリットやデメリットなど様々な課題もありますが、このような状況の中で「関係者が同じ空間に一堂に会して議論すること」や「保護者同士が学ぶこと」等の大切さを考えながら、今まさに悩まれているブロック協議会や地方協議会の皆様方に日本PTAから問題解決への手掛かりとなる事柄を提供出来れば、と考えております。



第42回 全国小・中学校 PTA広報紙コンクール

日本PTA全国協議会に所属する公立小学校・中学校で、平成31年4月から令和2年3月までに発行されたPTA広報紙を募集し、優秀作品を選考します。応募総数は、小学校2742点、中学校1323点、小中一貫校2点、計4067点でした。

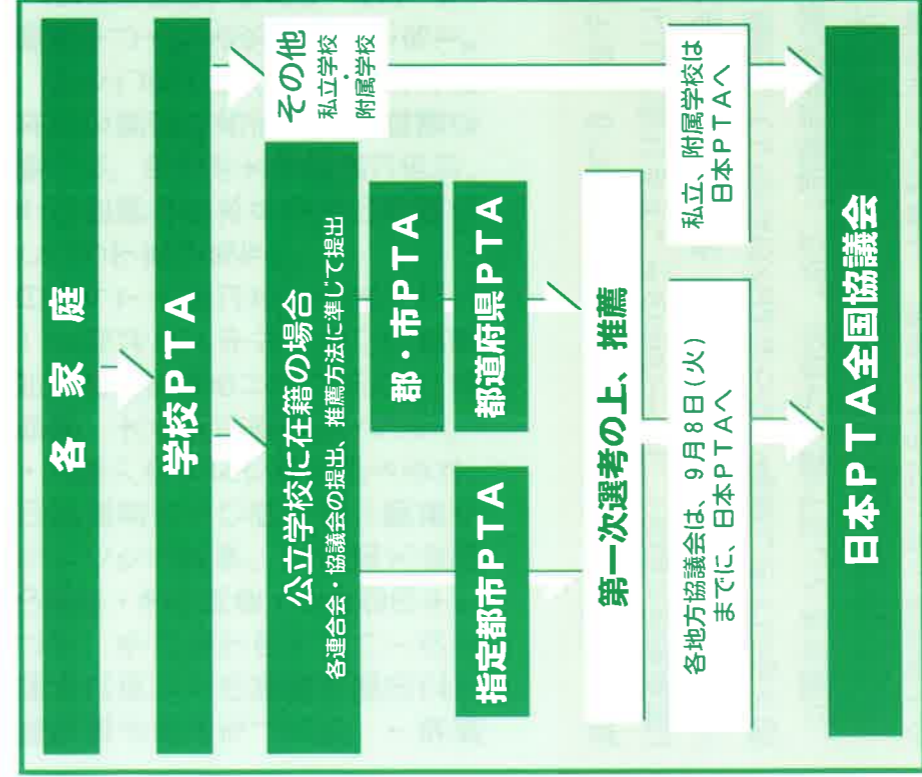
選考基準は、PTAが発行する広報紙として、PTA活動が掲載されているか、PTA会員が関心をもって読んでくれる内容か、編集・レイアウトの工夫がなされているか、など総合的に判断します。学校行事をただ載せるだけでなく、保護者が子どもたちや学校にどう関わっているのか読み取れる紙面構成が必要です。



優秀作品に対する表彰は、令和2年11月27日開催の年次表彰式で行う予定です。入賞作品は日本PTA新聞および日本教育新聞に掲載予定、受賞作品は「第42回優秀広報紙集」として発刊予定です。



令和2年度 「楽しい子育て全国キャンペーン」 ～家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～三行詩について



毎年、小学生・中学生と保護者、教職員等を対象に「家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ」をテーマに三行詩を募集し、優秀作品の表彰を行っています。

今年度も「家族との会話から生まれる日常の1コマや家族とのきずな」を短文に込めた、数多くの作品の応募があり、小学生の部40389点、

中学生の部33381点、一般の部8280点合計82050点が寄せられました。

いくつかの選考を経て最終的に選ばれた作品に表彰状の贈呈を行うとともに、優秀作品に素敵なイラストを載せたカレンダーを作成、発行します。新型コロナウイルス感染症により募集時期が例年よりずれたため、1月始まりではなく4月から1年間のカレンダーになる予定です。

発行されましたら、いつも目に留まる場所に貼っていただき、カレンダーをきっかけに家族の会話がますます増える幸いです。

調査研究事業

について

令和2年度の意識調査は「子どもとメディアに関する意識調査」を実施しました。例年行われている設問以外に今年度は特に新型コロナウイルス感染症拡大による休校中の「自宅での学習」についての設問を追加し、子どものテレビやゲーム、スマートフォンや携帯電話、インターネット使用上の影響や、保護者自身が感じた子どもの生活面での影響・戸惑い・不安を調査する機会とさせていただきます。

意識調査は時代背景や社会環境を加味しながら、時代的な意識の違い(例：5年前の子どもと現在の子どもの意識の違い)や縦断的な意識の違い(例：当時小5の子どもの中2になった時の意識の違い)を知ること、子どもの時代的な意識の問題、成長過程での意識の問題の推移を浮き彫りにするとともに保護者の認識を図るものとなっています。その結果を家庭教育の充実や推進、また子どもたちの健全育成に活かす事業です。

令和元年度協賛事業推薦一覧

会社名	商品名
(一社)家の光協会	書籍 月刊誌「チャぐりん」
AIG損害保険㈱	傷害保険 (こども総合保険、ベシシック傷害保険等) mamorino Watch (マモリーノ ウオッチ) miraire f (ミライエ フォルテ) mamorino 5 (マモリーノ ファイブ)
KDDI ㈱	Atermシリーズ こども安心ネットタイマー マイセキキュア
NECプラットフォームズ㈱	InterSafe WebFilter (フィルタリング及び関連するフィルタリングサービスの提供)
NTTコミュニケーションズ㈱	こどもセキュリティ「Fili」(フィリー)
アルプスシステムインテグレーション㈱	エスパ学生服上下
エースチャイルド㈱	学童用筆入
エクセル㈱	学習ノート
クソワ㈱	ヘルマーク付生命保険
サンスター文具㈱	ジャポニカ学習帳シリーズ (ジャポニカ、イラスタ、フレンド、キャラクター、カスタム)
ジブラルタ生命保険㈱	i-フィルター-FILTER
ショウワノート	ウィルスバスター for Home Network ウィルスバスターシリーズ (平成30年秋発売予定新製品及びモバイル端末向け製品を含む)
デジタルアーツ㈱	LED照明器具 LEDシーリングライト LED照明器具 LEDデスクスタンド LED照明器具 LEDペンダントライト
トレンドマイクロ㈱	Y a h o o ! M A P
ハサンニク㈱ライフソリューションズ社	カスベルスキー セキュリティ
ヤフー㈱	スタンレススツールポトル・ステンレスポトル LEDシーリング「まなひのあかり」搭載タイプ
㈱カスベルスキー	書籍 学研まんがでよくわかるシリーズ 「いなり寿司のひみつ」、「たすけあいのひみつ」、「 「工場のひみつ」、「あまさけのひみつ」、「ゼロ・エ ネルギー住宅のひみつ」、「キッチン」のひみつ」、「エ クスぺリアのひみつ」、「火災報知機のひみつ」、「モー ターのひみつ」、「中華まん」のひみつ、「女子野球の ひみつ」、「ガムのひみつ・新版」、「フォークリフト のひみつ」、「チョコレーのひみつ・新版」、「お肉 のひみつ」、「牛乳のひみつ」、「ゲーム&クリエーター パソコンのひみつ」、「エアゴンのひみつ」、「多目的 作業車のひみつ」、「こうや豆腐のひみつ」、「雷のひ みつ」、「トネルのひみつ」
象印マホービン㈱	書籍 学研まんがでよくわかるシリーズ地域のひみつ編 「淡路島 洲本市のひみつ」、「富山県のひみつ」、 「地震・津波防災のひみつ」、「福島県のひみつ」
日立アプライアンス㈱	書籍 学研まんがでよくわかるシリーズ特別編 「日本通産桃太郎伝説の生まれたち おかやまのひみつ」
㈱学研プラス	書籍 まんが社会見学シリーズ18 「大研究! 思いをつなぐ!ゼロハンテープ」、 書籍 まんが社会見学シリーズ14 「大研究! おいしく食べよう!ヨーグルト」
㈱講談社ビーシー	書籍 文春まんが 読みとくシリーズ 「家庭用殺虫剤 ここが知りたい!」
㈱文藝春秋	書籍 「君たちはどう生きるか」
㈱マガジンハウス	書籍 「漫画 君たちはどう生きるか」

皆さんは街角の本屋さんや家電量販店、ホームページなどで「日本PTA推薦」というマークをご覧になったことはありませんか？

日本PTAでは、協賛事業推薦規程において「児童・生徒等の学校教育、家庭生活上価値が高く、広く利用促進普及させることが適当と認められる事業または物品を協賛し推薦する」と定めています。

企業様からご相談があった商品、出版物に対して、所定

の書類をご提出いただいた上で、協賛事業推薦委員会においてサンプルをご提供いただいたりデモを行っていただき、規程に即した商品かどうか審査をしたのちに推薦を決定しています。

推薦は1年ごとに更新で、継続して申請していただくことができるようになっていきます。

昨年度も表のとおり多くの物品を推薦させていただきました。審査過程で役員より意

見を述べることも少なくないですが、企業様の子どもたちの教育環境についての様々な視点の想いをうかがうことができ、勉強させていただくことも多い事業となっています。

お見かけの際はぜひ手に取っていただき、商品に込められた子どもたちへの想いに触れていただければと思います。



「日本PTA推薦マーク」

見つけてください!

一斉休校などが中高校生の睡眠と心身の健康に及ぼす影響に関する調査のお願い

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月28日付けの政府からの要請を受け、全国の小・中学校、高校、特別支援学校では、3月初旬から春休みまで一斉休校となり、子どもたちは過去に経験したことのない日常生活を送ることとなりました。

本アンケートは、4つの大学の有志が中心となり、一斉休校や時差通学、外出自粛が中高校生の皆さんの睡眠習慣や体調にどのように影響があるのかを調査し、その調査結果から中高校生が健康な学校生活を送るためにはどのような環境であったら良いのか、といった資料を作成することを目的としております。

アンケートの回答に当たっては、中学生は保護者の同意と協力が必要となります。あくまでも任意のアンケートであり、強制ではありませんが、保護者にとっても、子どもたちにとっても重要な資料になることを期待しておりますので、より多くの方にご協力いただくと幸いです。どうぞ宜しくお願いいたします。

1 アンケートの内容

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための一斉休校や時差通学が、中学生・高校生の睡眠と心身の健康に及ぼす影響

2 アンケート実施者

明治薬科大学心理学研究室、東京医科大学精神医学分野、慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室、東京大学経済学研究科修士課程にご所属の各位

3 回答締切

令和2年12月18日(金)

4 アンケート方法

スマートフォンやパソコンなどの機器からの回答
URL
<https://forms.gle/RyrD78wVxQtWhEXD7>
二次元コード



Q. PTAはどんな活動をしているの？

PTA90年 全国PTA協議会
※PTA会費特別優待
※1,700円(税込)

PTA組織を運営・推進していく上で、参考となる事例を紹介しています

Q. 子ども達を守る為の知識と全国の防災への取り組みを知りたい

過去の災害から未来へつなぐ学びと教訓。全国のPTAが行う防災実践事例の二本立て

※1,700円(税込)
※PTA会費特別優待

Q. 勉強会・研修会でスマホ・インターネット、家庭教育について学びたい

子どもとメディア、教育に関する意識調査を全国規模で実施子ども達を取り巻く環境が数字で紐解けます

※1,700円(税込)
※PTA会費特別優待

PTA活動に必要な知識を、すべての疑問にお答えします

PTAを楽しむための本

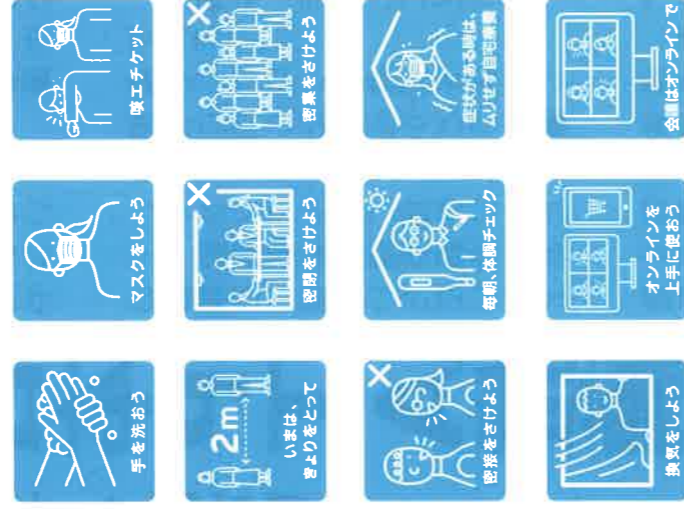
自由出版 PTA 90年 全国PTA協議会
※1,700円(税込)
※PTA会費特別優待

「PTA活動における

新型コロナウイルス感染症対応ガイド」を作成しました



感染防止に取り組みましょう



今やれることを

私たちPTAの主な活動は社会教育及び家庭教育の充実、そして、子どもたちの健全育成です。

PTA活動も中止

パンデミックが宣言され、世界中で大流行している新型コロナウイルス感染症。

日本においても全国各地で感染が報告されています。4月には国の緊急事態宣言が発出され、全国の小中学校が休業となりました。休業と同時にPTAの活動においても延期や中止の情報が多く寄せられました。6月にはほとんどの学校が再開され、その後、PTA活動も徐々に再開され、現在では「新しい生活様式」に沿ったPTA活動が行われています。

正しく怖がる

ガイドには「新しい生活様式」を基本とした感染防止対策について掲載

これらの活動はコロナ禍においても止めることはできません。最初から諦めるのではなく、今やるべきことは何か、今やるべきことは何かを考え進み続けていかなければなりません。このウイルスの収束にはまだまだ時間がかかると言われています。そのため、しばらくの間は感染防止対策を行いながら活動を続けていく必要があります。

当協議会では、感染防止対策を行いながらPTA活動を行うために「PTA活動における新型コロナウイルス感染症対応ガイド」を作成いたしました。

皆さまの感染防止にご活用ください

PTA活動は地域や人数によって様々な活動が行われています。それぞれの活動に合わせた形で、またご家庭での感染防止対策に、この「PTA活動における新型コロナウイルス感染症対応ガイド」をご活用いただければ幸いです。

なお、対応ガイドは最新の知見により必要な改訂を行ないます。最新版は日本PTAのホームページをご参照ください。どうぞご利用ください。



感染者への差別・偏見をなくそう

文部科学大臣のメッセージ紹介

児童や生徒へ

「感染した人や症状のある人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持ち、感染した人たちが早く治るよう励まし、治って戻ってきたときには温かく迎えて欲しいこと」

教職員や学校関係者へ

「誤った情報や認識、不確かな情報に惑わされることなく、正確な情報や科学的根拠に基づいた行動を行うことができるようになることを身につけさせる指導が大切であること」

保護者や地域へ

「差別や偏見、誹謗中傷を許さないこと。身の回りに差別等につながる発言や行動があったときには、それに同調せず、『そんなことはやめよう』と声をあげること」



いずれに対しても

「感染を責める雰囲気が広がれば医療機関での受診が遅れたり、感染を隠すことにもつながりかねず、結局は地域での感染の拡大にもつながり得ること」等が訴えられています。

新型コロナウイルスによって、感染症を発症させられるだけではなく、人と人のつながりや人のやさしさが断ち切られようとしています。偏見や差別、誹謗中傷の根絶にはご家庭の協力が欠かせません。皆さまのやさしさでウイルスとの戦いに打ち勝ちましょう！

編集後記

従来の読み応えのある「新聞」から、日々の活動をより分かりやすく、そして、身近に感じていただけるように、ホッパを「広報紙」寄りに日本PTA新聞が生まれ変わりました。コロナ禍だからこそ、みんなで力を合わせ、今できることを地道に少しずつ前へ進めていく、そんな「チーム日本PTA」でありたいと思います。(大島 修)